

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
 株式会社 西村製作所 倉岡工場 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>						
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-	-
1.2 遮音		-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-
1.3 吸音		-	-	-	-	-
2 温熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	-
1 室温		-	-	-	-	-
2 外皮性能		-	-	-	-	-
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		-	-	-	-	-
2.3 空調方式		-	-	-	-	-
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-
1 昼光率		-	-	-	-	-
2 方位別開口		-	-	-	-	-
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-
1 昼光制御		-	-	-	-	-
3.3 照度		-	-	-	-	-
3.4 照明制御		-	-	-	-	-
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-
1 化学汚染物質		-	-	-	-	-
4.2 換気		-	-	-	-	-
1 換気量		-	-	-	-	-
2 自然換気性能		-	-	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-	-
4.3 運用管理		-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.43	-	-	<b>3.6</b>
1 機能性		-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	-
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-
3 内装計画		-	-	-	-	-
1.3 維持管理		-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.50	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水HIVP(B)、排水VP(B)、給湯CUP(D)、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-

3	対応性・更新性		4.2	0.50	-	4.2
	3.1 空間のゆとり		5.0	0.30	-	
	1 階高のゆとり	階高:10.85m	5.0	0.60	-	
	2 空間の形状・自由さ	[壁長さ比率] < 0.1	5.0	0.40	-	
	3.2 荷重のゆとり	床荷重:14.710N/m <sup>2</sup>	5.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.57	-	2.4
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.7
LR1	エネルギー		-	0.40	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEIm=0.00	5.0	0.63	-	5.0
4	効率的運用		3.0	0.25	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	2.9
1	水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.22	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	
	1 消火剤		-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	3.8
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率51%	4.9	0.33	-	4.9
2	地域環境への配慮		3.3	0.33	-	3.3
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	
	2 振動		-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	5.0	0.70	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

株式会社 西村製作所 亀岡工場 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	-	1.0	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	10.0	-	1.0	-	3.0	3.0	1.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のラメラに誘われる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSG	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m <sup>2</sup> K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	ηAC
居室率	0.0%	ηAH	-
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0m <sup>2</sup> /人	病床	.0m <sup>2</sup> /床	シングル	.0m <sup>2</sup>	ツイン	.0m <sup>2</sup>
コンセント容量	0.0 VA/m <sup>2</sup>						
天井高	0 m						
リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	10.85 m						
壁長さ比率	9.7%						
床荷重	14710 N/m <sup>2</sup>						

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

外構緑化指数	35%	建物緑化指数	0%
空地率	59%	水平投影面積率	0%
		地表面対策面積率	20%
		舗装面積率	38%
BPI/BPI <sub>m</sub>	-	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m <sup>2</sup>	採光を満たす教室数	0.0%
		採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%
		通風を満たす住戸数	0.0%
BPI/BPI <sub>m</sub>	非住宅	住宅	-
		太陽光	5.6kW
		太陽熱等	.0kW
		蓄電池	.0kW
雨水利用率	0.0%		
特定調達品目	-	エコマーク商品	-
		自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%		
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-
見付面積比	11%	降棟間隔指標Rw	1.30
地表面対策面積率	20.0%	屋根面対策面積率	0.0%
		外壁面対策面積率	0.0%
見付面積S <sub>b</sub>	338m <sup>2</sup>	卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>s</sub>	74.58 m
		基準高さH <sub>b</sub>	38.83 m
緑地	1,073m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>
		保水性対策面	m <sup>2</sup>
		高反射対策面	m <sup>2</sup>
		再帰性反射対策面	m <sup>2</sup>